

## 巻 頭 言



バブルの頃を中心に、全国津々浦々で雨後の筍のように発生したリサーチパークの多くに閑古鳥が鳴く中、発足以来2年半のY R Pの発展・盛況の様子は飛び鳥を落とす勢いであるように見える。Y R Pは場所提供型でなく、いわばテーマパーク方であるが、選ばれたテーマとその発足のタイミングが絶好であった。十数年前に動きが始まった頃からの進み具合を知っている者にとっては、「横須賀リサーチパーク構想」がやっと実現したなという感慨と、長年努力してこられた方々の苦勞が報われて本当に良かったと、ホットした気持ちが強い。

Y R Pに参加した各グループのR & D活動はウォームアップが終わり、これからいよいよ本格的な段階に入る。個々のグループ自身の成果はもとより、グループ相互の協力やY R P全体での活動の努力も含め、「ここに来て良かった」と心から言える人が出来るだけ多くなるよう願っている。

しかし、「ビックプロジェクトは、それがピークに達する前に、ポストプロジェクトを考え始めなければならない」。ビックプロジェクトの典型である宇宙のR & Dのコミュニティで三十九年余り生きてきた私の実感である。Y R Pが最初のターゲットにしたIMT - 2000を考えれば、今やその時、いやもう遅いくらいである。社会生活のテンポや科学技術の進歩のペースが早まり、ビックプロジェクトの時定数(寿命)がどんどん縮まり、以前から見れば自転車操業の感を禁じえない。それでも、それを認識し、行動できるかどうかでY R Pの今後が決まるのである。

その中で、リサーチパーク成功のために共通の必要条件「参加者全員にメリットがあること」を忘れずに今後の計画や運用が進められることを期待したい。

財団法人 テレコム先端技術研究支援センター 専務理事  
横須賀リサーチパーク研究開発協議会 副会長  
畚 野 信 義

## 横須賀リサーチパーク研究開発協議会コーナー

横須賀リサーチパーク研究開発協議会等が今後開催を予定している主なイベントは以下のとおりです。詳細はローズテリア内コミュニケーションボードやY R Pホームページ等でご案内させていただきますので、積極的にご参加下さい。

イベント 予定	開催日	イ ベ ン ト 内 容	
	7月4日	JICA「太平洋民間協力研修」 Y R P視察	
	7月10日	西アフリカ諸国エンジニア Y R P視察	
	7月10日	ベンチャーフォーラム2000	於：東京都庁
	7月12日～13日	Y R P移動体通信産学官交流シンポジウム	於：YRPホール、NTTドコモ
	7月17日～19日	モバイル&インターネット・ソリューション展	於：東京ビックサイト
	9月21日～22日	成層圏プラットフォームワークショップ	於：品川
	10月26日～27日	ITS国際シンポジウム	
	11月9日	URSI - F会合	
	11月12日～15日	国際移動通信シンポジウム(WPMC2000)	於：バンコク

## 協議会コーナーつづき

### 京都リサーチパーク(KRP)で開催された「次世代モバイル通信の利用形態に関するフォーラム」の様様

6月7日～8日、京都のKRPに於いて「次世代モバイル通信の利用形態に関するフォーラム」が開催されました。本年2月に業務提携した、京都リサーチパーク(株)と当協議会との提携後初の共催行事として今回のフォーラムが企画・開催されました。フォーラムでは、(株)モバイルインターネット・キャピタル社社長西岡



西岡 郁夫氏の基調講演

郁夫氏(元インテル会長)の基調講演と、特別講演の郵政省通信総合研究所横須賀無線通信研究センター長の井原俊夫氏の講演に続き、YRP側からは7名の講師により、次世代情報通信インフラの研究開発状況やモバイル・マルチメディア・アプリケーションの共同研究状況等の講演が行われました。また、KRP側からは、アプリケーションやデジタルコンテンツ関連のベンチャー系企業の開発成果発表と、ニュービジネス創出を目指したベンチャー企業と既存企業との出会いの場を設定した「Bizマッチングセッション」が企画・運営され、大手企業を中心にシステムの研究開発を目指すYRPと都市型ベンチャー・インキュベーターであるKRPが業務提携して、戦略的な相互補完・相乗効果を目指すに相応しい催しとなりました。



今日、IT革命と言われるように、情報通信技術の発展による社会の変革は目覚ましいものがありますが、それら最先端の研究・開発状況を紹介する今回の催しでは、2日間で延べ600名を超える熱心な参加者を集め、ITに対する一般の関心の高さを証明するフォーラムでありました。

### 「YRP産学官交流シンポジウム2000」開催のご案内

7月12日(水)～13日(木)、昨年に引き続き「YRP産学官交流シンポジウム2000」を開催します。主な講演内容等は以下の通りです。詳細はYRPホームページ迄。(参加費は無料で参加登録は7月5日迄)

招待講演 ・Dr.Nick Tredennick, Chief Scientist of QuickSilver Technology, U.S.A.

(12日) 演題: アメリカにおける電子工学開発の変化について

・米国 ポーランド社 会長 原 丈人 氏  
演題: マネージング・パートナー

(13日) ・Mr. Christopher Mangum, Managing Principal of Venture Consulting

演題: 米国における産学官連携の実態(仮題) Group, LLC

・Dr. Ramjee Prasad, Professor of Asiborg University, Denmark  
演題: ヨーロッパにおける産学官連携(仮題)

研究発表: 全国23の大学等から42件の研究テーマの発表が、YRPホール、第一会議室、NTTドコモの3つの会場を使用して行われます。多数の皆様方の参加をお待ちしています。



### 「YRPホームページ」の更改について(8月1日予定)



YRPトップページのイメージ

皆様に大変親しまれておりますYRPホームページを全面改定することになりました。本年3月に実施した研究開発協議会の更改に続き、トップページからの分かり易い構成、コンテンツ内容の充実を図るものです。

更改にあたっては、(株)横須賀テレコムパークと研究開発協議会のメンバーが協力し、日夜検討を行い、これまで以上に皆様に愛されるホームページにしていくつもりですのでご期待下さい。

なお、トップページの写真について、カラーの緑色はYRPの丘陵、ブルーは空・海をイメージし、各サイトへの丸や光はトンネルを抜け出したイメージ、下段の波は、海の波・そよ風・電波の波をイメージにして作成しました。(カラー印刷でなくて申し訳ございません。)

## 横須賀リサーチパーク推進協会コーナー

### フランス（モバイル・インターネット調査団）ご視察



6月16日（金）フランスからフィリップ・ゴドレウスキ団長以下8名のモバイル・インターネット調査団の一行がYRP地区の視察に訪れました。

当日は午前中、YRP1番館、CRL、TAO横須賀ITSリサーチセンターを視察され、午後からは、フランス側からのプレゼンテーションがあり、一行はその後、NTTドコモを見学されました。

### 国内事例調査の実施について

当協会では、9月7日～8日に、国内事例調査を実施する予定です。

京都リサーチパーク等でベンチャー企業を調査する予定ですが、詳細が決まり次第、会員の皆様にはご案内させていただきます。

## （株）横須賀テレコムリサーチパークコーナー

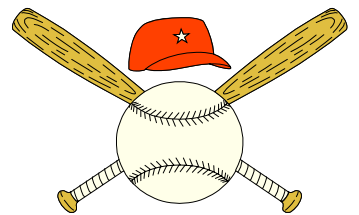
### 株主総会の報告（6月23日）

（株）横須賀テレコムリサーチパークの株主総会は、朝からの雨模様の中、午後3時30分定刻通りYRPホールで開催しました。委任状を含め59名の株主の出席を得、第7期営業報告、貸借対照表、損益計算書の件についての報告、第7期損失処理案承認の件・取締役選任の件・監査役選任の件の議案についての提案をし、すべて滞りなく承認されました。総会終了後、水辺公園近くのフランスレストラン「ラ・ループル」で懇親会を設け、当社の発展のため、株主相互の懇親を深めていただき、午後5時30分散会しました。

### 「第2回YRPソフトボールトーナメント大会」いよいよ決勝戦！！

梅雨の晴れ間をぬって連日熱戦を繰り広げていたソフトボール大会も、ついに最終章を迎えることとなりました。勝ち進んでいるのは、昨年の優勝チームのVerアップ？した「とらすたーず2（NTT通信研究所）」と「ローミングス（NTTコミュニケーションズ株）」のNTTグループ同士の対決となりました。

さて、勝利の栄冠はどちらの頭上に輝きますか。  
決勝戦は7月5日午後5時からYRPグラウンドで行います。ぜひ、お見逃しなく。



### 夏祭り開催のご案内



若さ爆発、YRPカーニバル、夏の風物詩として定着しつつある「YRP夏祭り」を、今年も7月28日（金）午後5時30分～8時30分まで開催します。

参加型アトラクションとして地域に就業する多くの方々が日ごろ鍛えた？芸を披露します。また、フランクフルトソーセージ、焼きそば、焼き鳥、かき氷、わたあめなどの屋台の出店もあり、夏の楽しいひと時になりそうです。

他に、市民芸能グループの出演も予定しています。

NTTアドバンステクノロジー株式会社 ( NTT-AT )

当社は移動通信システムの新方式構築支援業務、アプリケーションシステム開発、電波測定、試験評価、コンサルティング等を目的として、平成9年10月YRP2番館5Fに事務所を開設しました。現在、アクセスネットワーク事業本部のワイヤレスシステム事業部と電波事業部の技術者40名程が常駐しています。

1. 電波伝搬関連業務

YRPでの主要業務の一つは、電波伝搬/アンテナ技術に関連する業務です。ワイヤレスサービスの拡大に伴い、FWA等各無線システムを他システムとの共存を図りながら効率的かつ経済的に構築することが求められています。このため、電波伝搬状況を正確に把握することは重要です。海外展開も含め、VHFからミリ波に到る各周波数帯のアクセス回線から固定、衛星、移動等各システムの電波伝搬や、システム設計に関連する以下の業務に従事しています。



新しいシステム開発に伴う電波伝搬調査では、現状調査から試験の企画や準備、伝搬測定、取得データの処理、解析に到るまで実施しています。中心となる電波測定業務では、昨年、電波測定車を導入しました。これに伴ない、測定環境に左右されず効率的な測定が可能となりました。システム構築では、無線局位置の選定や品質評価が重要となります。また、システムが所期の品質を維持できない問題が生じることがある場合には、設計方法や障害原因調査等を実施しています。伝搬技術のノウハウを生かし、置局設計や回線設計業務についても実施しています。干渉評価ソフト開発、電波伝搬状況を簡単に把握できるシミュレーションツール等の開発をしています。自社開発の屋外置局設計システム、屋内置局設計システムは、パソコンで簡単に伝搬状況をエリアマップとして表現できます。

上記業務を基本ベースとして、ミリ波映像や成層圏プラットフォーム等YRP研究開発協議会への参加や、標準化活動等への協力も行っています。

2. ワイヤレスシステム開発

IMT-2000、ITS、OFDM、MMAC等、モバイルマルチメディアに関する先端技術に関する調査、研究開発サポートを中心に実施しています。具体的には、移動機の無線特性評価、機能試験、免疫ティ調査、アンテナ特性評価等の他、独自技術を応用した先端技術に関する調査分析業務、無線LANインテグレーション等も実施しています。

自動料金収受システム(ETC)サービスの試行運用開始など、身近なものになりつつあるITSについては、情報通信技術の研究開発設備開発をしています。柔軟で高機能な路側ワイヤレスネットワークインフラの技術開発のためPHSとDSRC(狭域通信)の無線信号を直接、光ファイバで無線ゾーンに送るとともにそのゾーンを選択できる機能を実現しています。

また、ワイヤレス映像モニタリングシステム等の自社開発も行っています。本システムは、PHSとインターネット技術を利用しており、PHS端末を内蔵したワイヤレスカメラとLANに接続されたサーバから成り、LAN上で複数の人が同時に画像情報を共有できます。

詳細につきましては、下記のURLのホームページに掲載しておりますのでご参照下さい。

< <http://www.ntt-at.co.jp> >

